

## 平成24年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	○愛媛大学、香川大学、高知大学
申 請 区 分	I
構 想 名	日本・インドネシアの農山漁村で展開する6大学協働サービス ラーニング・プログラム
<p>〔評価コメント〕</p> <p>本構想は、日本とインドネシアの6大学（農学部を中心）でコンソーシアムを形成し、学士課程の学生が両国の地域コミュニティで共同生活をしながら地域課題に取り組み、相互に学びあうことを狙いとするサービス・ラーニングプログラムである。更に、大学院修士課程の学生について共同学位プログラムを開発するものである。また、参加大学の強みを生かした多様なサービス・ラーニングの機会の国際化に向けて、これまでの国際的大学間連携の実績を踏まえて、日本及びインドネシアの農学分野の学生の国境を超える地域貢献力（サーバント・リーダー）を育成するという意欲的な取組である。その展開にあたっては、参画する大学の地域・環境特性を的確に考慮することで、学習効果を高める計画となっており、先導的な取組としても高く評価できる。</p> <p>学生の支援体制については、日本にインドネシア人スタッフを常駐させ、インドネシアに日本人スタッフを常駐させることとしている。また、インドネシアの帰国留学生OB会による学生支援などの充実をはかり、地域におけるサービス・ラーニングの危機管理と同時に、学習効果の改善への工夫もみられる。</p> <p>しかしながら、カリキュラムの面では、1年次から4年次までの系統的・体系的な講義やサービス・ラーニングなどが計画されているが、一貫して最後まで参加する学生をどのように確保し、指導するのか、インドネシア語や日本語を学ぶ意欲をどのように高めるのか、他方で途中で参加を希望する学生をどのように受け入れるのかなど、よりきめ細やかなデザインを更に検討することが望まれる。</p> <p>最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、20年、30年後の「日本」を見据え、国際社会に積極的に関与し貢献するとともに、日本がより豊かで強く、かつ様々な価値観を大切にす国になるための礎となる「グローバル人財」の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任と期待の重さを認識されるとともに、大学として構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。</p>	